

市民の公益的な活動への具体的な支援について
(答申案)

令和 6 年 6 月

富谷市協働のまちづくり推進審議会

目次

1. はじめに……………P 2
2. 市民の公益的な活動への具体的な支援について ……P 3
3. 参考資料……………P 6
 - (1)審議会等開催経過
 - (2)富谷市協働のまちづくり推進審議会 委員名簿

1. はじめに

富谷市は総合計画において、まちづくりの将来像として「住みたくなるまち日本一」を掲げ、その中で、「市民の思いを協働でつくるまち」を基本方針の一つとしています。まちの魅力と持続可能性を高めつつ、少子高齢化などの社会情勢の変化や、災害発生時などの突発的な事態に柔軟に対応していくためには、市民の知恵と力が生かされた公益的な活動が果たす役割は、大変重要なものとなっております。

令和3年3月に策定された「わくわく つながる わたしたちのまちづくり - 富谷の協働ガイドライン -」の中では、こうしたまちづくりに関わるすべての方々がともに取り組むために、考え方や方向性を共有することを目的とした指針が示されています。

その後、市が協働のまちづくりを推進する中で、公益的な活動への支援について諮問がなされ、令和4年6月に、市民が活動しやすい支援について、総合計画、協働ガイドラインを踏まえ、本審議会から提言を行いました。

そして、令和5年度には、市民の公益的な活動への具体的な支援について市から諮問がなされ、市民活動交流会やとみやわくわくミーティングにおいて参加者から出された意見も踏まえながら、本審議会において審議を重ね、このたび、答申としてまとめました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市民の公益的な活動が大きく制約された時期もありましたが、現在は日常に戻り、さらなる広がりを見せてきているところです。この答申は、富谷の協働ガイドラインで示すわくわくつながるまちづくりとなるよう、多様な主体がそれぞれに、そして協働して取り組める支援としてまとめております。市民が住み続けたいと思えるまちとなるよう、多様な主体が活動しやすい環境を計画的に整備されながら、富谷市の市民協働のまちづくりがさらに進展することを願っております。

2. 市民の公益的な活動への具体的な支援について

わくわく つながる わたしたちのまちづくり

～市民の公益的な活動における富谷市らしい取り組み「輪づくり」のために～

市民の公益的な活動（公共の利益につながる活動）は、市民の主体的な参加に支えられています。自分たちが住んで良かった、そしてこれからも住み続けたいと思えるまち、一人一人がふるさとと思えるようなわがまちを自分たちの手で作っていくことを意識しながら、市民による市民のための活動に、市民が主体的に関わることが重要であり、それを実現していくための取り組みを以下に示しました。

以下の取り組みは、多様な主体（市民、市、及び多様なセクター（公益的な活動を行う市民活動団体や公益法人、事業者など）がそれぞれにできることをコラボレーションさせて、市民協働で創造していくものです。

～気軽にいろいろな情報に触れ、さまざまな選択肢を持てるように～

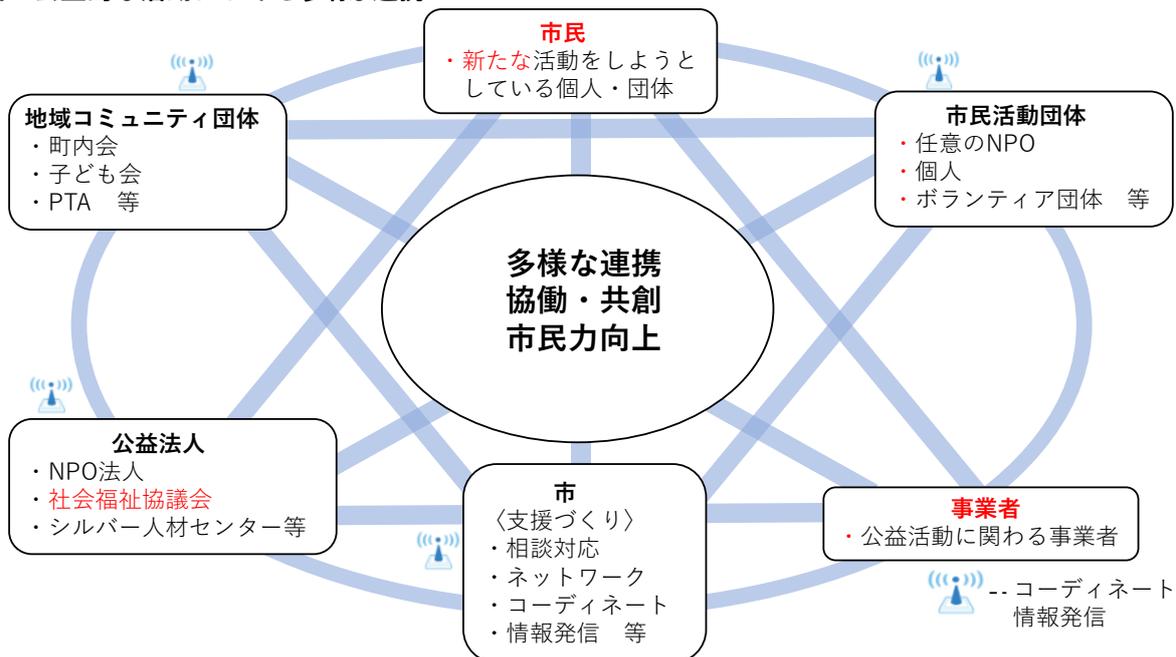
～これから地域活動を始めたい人の最初の一步を踏み出しやすくするために～

～そしてこれから先も楽しくつながり、自立して活動を続けていけるようにするために～

整備の実現を目指すこと

- 地域のために活動している個人・団体の把握・登録・ネットワーク化
- 活動の様子や活動している人の声、活動に役立つ情報の発信
- 施設の活用や設備等の利用ガイドの作成、気軽に参加できる機会の創出

市民の公益的な活動における多様な連携



互いに理解し、寄り添い、共に作り上げていく「輪づくり」が、地域づくりの一部となっていく。そのために、世代や立場を超えて多様な人々がつながりやすいように取り組めること、取り組むこと

輪づくりのために市民が取り組めること

- ・誰もが住みたくなる、そして将来にわたって住み続けたくなるまちづくりのために、地域をさらに良くしたい人、知識や経験を活かしサポートしたい人、些細な事でも地域づくりの**一歩となる活動をしたい人**など、世代や立場を超えた多様な人々がそれぞれに、又は互いに力を合わせる**こと(市民力向上)**
- ・活動内容紹介や入会募集案内など、ちらし、ホームページ、SNS、口コミ等を用いての広い情報発信

輪づくりのために市が取り組むこと

- ・市民協働課や社会福祉協議会等、多様なセクターにおいて既に整備している登録制度のデータベース化及びネットワーク化
 - ・活動している個人・団体の活動内容についての情報収集、把握、登録
 - ・活動している個人・団体についての紙媒体、電子媒体等による情報発信
 - ・活動しようとしている人、すでに活動をしている人・団体等の相談窓口の運営やコーディネート
 - ・活動にあたり有益な講座やイベントの開催、楽しくつながり広がる**輪づくりのための**交流会や対話の機会など気軽に参加できる**機会の創出**
 - ・身近な施設を有効活用する為に必要な環境の整備、公民館の（仮称）市民センター化（※）
- ※（仮称）市民センター化とは…主体的なまちづくり活動を育み、多様な主体による輪づくりを広げるため、これまでの公民館利用団体等の利用に配慮しながら、地域に身近にある公民館を利用できるようにしていく整備。
- ・活動に便利な設備（情報コーナー、パンフレットラック等）の設置・利用ガイドの整備
 - ・活動の活性化、充実化を促す助成金や活動支援制度の情報把握・提供
 - ・市役所**全体における協働の意識の向上と連携の強化**

輪づくりのために多様な主体が協働して取り組めること

- 市民、市、多様なセクターとの世代や立場、分野や地域を超えた多様な人々によるゆるやかで創造的なつながりの創出、交流の促進
- 情報の共有及び多層的なコーディネート強化
- 我が事と思えるような市民活動の推進及び多様な市民活動を尊重する雰囲気醸成

3. 参考資料

(1) 審議会等開催経過

年 月 日	内 容
令和5年 6月26日	第1回富谷市協働のまちづくり推進審議会 諮問（公益的な活動への具体的な支援について）
令和5年 7月28日	第1回とみやわくわくミーティング テーマ:市民活動について
令和5年 8月30日	市民活動交流会（テーマ:市民協働のまちづくりについて）
令和5年 8月31日	第2回富谷市協働のまちづくり推進審議会
令和5年 10月30日	第3回富谷市協働のまちづくり推進審議会
令和5年 11月29日	第2回とみやわくわくミーティング テーマ:市民活動について
令和5年 12月18日	第4回富谷市協働のまちづくり推進審議会
令和5年 12月20日	市民活動交流会（テーマ:市民協働のまちづくりについて）
令和6年 2月8日	第5回富谷市協働のまちづくり推進審議会
令和6年 5月30日	第6回富谷市協働のまちづくり推進審議会
令和6年 6月25日	第7回富谷市協働のまちづくり推進審議会 答申（市民の公益的な活動への具体的な支援について）

(2)富谷市協働のまちづくり推進審議会 委員名簿

任期：令和5年6月26日～令和7年6月25日

No.	委員構成区分		氏名	所属等 (令和5年6月時点)	備考	
1	協働のまちづくりに関し識見を有する者	学識経験者	佐々木 秀之	宮城大学 事業構想学群 准教授	会長	
2		関係機関・団体関係者	佐藤 怜美	社会福祉法人 富谷市社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター		
3		関係機関・団体関係者	日諸 喜代子	公益社団法人 富谷市シルバー人材センター 副参事		
4		関係機関・団体関係者	佐伯 江美子	富谷市PTA連合会 副会長		
5		公益活動団体関係者	地縁団体	平岡 政子	明石台第二町内会 会長	会長職務 代理者
6			地縁団体	佐藤 政悦	二ノ関町内会 会長	
7			特定非営利活動法人	村上 幸枝	特定非営利活動法人 SCR 代表	
8			ボランティア団体等	増田 恵美子	Narita マルシェ 代表	
9	と市長 認めが る必要 者	公募市民	北野澤 泰			
10		公募市民	曾根 亜魅			